

『ビジネス2.0』の視点



ICT、クラウドコンピューティングをビジネスそして日本の力に！

PR ビジネスに革新をもたらす「10」の技術トレンドとは？

PR 最新Officeを軸にクラウドグループウェアと連携～Microsoft

地域SNSは普及しつつあるが、庁内SNSは普及しないのか？

地域2.0

2007/07/30



7月27日、千葉県先端情報技術活用研究会が主催する平成19年度「第1回次世代インターネット分科会・情報技術セミナー」に参加してきました。今回のテーマはSNS。『SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）とは何か』からはじまり、上田 修子氏による『～OpenPNEの概要について～』、虎岩 雅明氏による『地域SNS構築事例 ～西千葉SNS「あみっぴい」について～』、そして最後に、『組織内SNS構築事例 ～千葉県庁職員SNS実験「CHIPS」について～』が紹介されました。

地域SNSは、現在全国の自治体の中で400を越え、総務省が発表した「地域SNSの活用状況等に関する調査の実施結果の公表(2007/4/19)」によると約7割弱が地域SNSに関心を示しています。

一方、千葉県職員のSNS実験のような庁内SNSでの活用事例は、総務省が本省と地方局をつなぐツールとしてSNSを導入事例はありますが、自治体レベルにおいては庁内SNSの事例はほとんど見られないのが現状です。地域SNSや社内SNSの導入が進む中で、庁内SNSの導入が進んでいないのは、素朴に疑問を感じました。

今回の千葉県庁のSNSは、昨年12月1日から開始して、職員（母数）が10,000超に対して登録者数は7/27現在で200名を越える程度で、コミュニティ数は50弱とのこと。また、SNSの利用ルールは、名前はニックネームでも良いが、所属や連絡そしてプロフィールはしっかりと記入するというルールがあるようです。また、書き込みは勤務時間外限定（勤務時間内は禁止）となっているようです。

企業においては、コンシューマ向けのブログやSNSのサービスを開始し爆発的に普及した後、社内SNSやイントラブログ等の社内向けに利用がはじまっています。自治体も同様に、地域SNSが普及し一段落した後に、庁内SNS導入の検討が本格的にはじまっていくのでしょうか？

【参考文献】

千葉県職員自主研究活性化事業 庁内SNSの可能性に関する実証実験について(PDF)



林 雅之

ICT企業勤務。クラウドサービスのマーケティングを担当。

国際大学GLOCOM客員研究員。社団法人クラウド利用促進機構アドバイザー。

著書『オープンクラウド入門（インプレスR&D）』、『クラウド・ビジネス入門（創元社）』

■ 詳しいプロフィール

必見 肝臓不安時代を乗り切る！



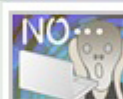
提供：カゴメ

弱った肝臓には
スルフォラファン

肝臓の解毒力をサポートする健康成分スルフォラファンは米国の大きな話題となり今、ビジネスマンから熱い注目を集めています。詳しくは：

Special

- PR -



IT管理の“本当にあった怖い話”

辞めた社員がシステムに不正侵入!? 見落としがちなAD管理に潜むリスクとは



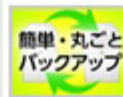
レディなIT基盤

スピードと効率的な運用の全てを満たす最短ルートを選ぶならこれだ！



容量無制限クラウド“Box”の実力

使いやすさと管理機能を両立、18万社が使うコラボレーションサービスとは？



ホントに使いやすいのはどっち？

今ある製品と比べてみよう。超簡単バックアップ製品、無償お試し版はこちら！



テラバイト級の復旧を数分で！

物理/仮想を問わず高速システム復旧を実現する製品は？